

新夕ニ兼務為致候儀ニ係ハハ右教授料トシテ月給
百圓給與致度速何レモ事實無余儀相聞候間伺ノ通
御許可相成改定條約書業貼紙ノ通改正候様御指令
相成可然哉ニ存候因テ御指令業調査此段上陳儀也
四月廿二日 内務

八月十日 （五）

十九

驛遞寮雇ブライアン米國ハ差遣ニ付臨時費準備トシ
テ金壹萬圓ヲ下付ス

内務省伺

一金壹萬圓也

右ハ今般驛遞寮外國邦郵便課長ブライアンヲ米國
ハ被差遣候儀ハ第一ニ太平洋郵便船會社ト米國驛
遞院トノ約定ハ本年十二月限ニ付明年ヨリ何等ノ
會社ト何等ノ約定ヲ以テ太平洋ノ郵便運送ヲ為ス
ハキ同院ノ見込ナルカラ早ク探偵シテ更ニ日米郵
便交換條約第十二條ノ保續ヲ謀リ第二ニ太平洋ノ
郵便運送ハ何様ノ船舶ヲ以テスルモ總テ米國驛遞
院ニテ之ヲ擔負セン事ヲ同院ハ希望シ第三ニ其報

四十

十九

太政
領
典

谷トシテ横濱ヨリ上海ニ至ル其支線上ノ郵便運送
ハ総テ日本ノ擔任スル所ト為シ其費モ亦全ク日本
政府ヨリ可拂旨ヲ聞申シ第四ニ米國ノ上海支線船
ノ保續スルハ日本ノ運送船ニ大害アリテ米國ニ益
無キ因由ヲ説明シ其支線船ヲ明年ヨリ廢絶セシム
レヲ謀リ随テ在上海米國ノ郵便局ヲ閉鎖セシメ及
ヒ三菱會社ノ上海定期船ノ保護ヲ謀ル等(其他一般
郵便會盟御加入ニ付テノ談判及ヒ東西洋派船會社
ノ憂分等モ有之)其閑スル憂皆單ニ公然ノ商議ニテ
ハ難行届次第ニ付驛迎總長及彼ノ外國郵便局長等
ハ先ツ其懇親上ニテ密話熟議為致又議院ニ係ル件
ハ豫メ上下議員ノ内へ密ニ依頼致シ置候等何レモ
權宜ノ憂分ニ出テ候儀ニ付或ハ之ヲ響應シ或ハ相

應ノ贈物ヲ要シ候場合モ有之候ニ付右等臨時費ノ
準備トシテ前書ノ金高在未吉田公使へ差送り置其
要用ノ時ニ同公使ヨリ同人へ為相渡候様致シ度尤
其遣拂ノ如キハ同人歸朝ノ上精算御届可仕候條早
々御裁可ノ上本金額御渡シ有之度此段相伺候也
但本文金額ハ驛迎索定額中ヨリ仕拂可申儀ニ付
之候 八月四日
内務

伺ノ趣聞届候事 八月十日

大蔵省へ達

別帛内帛省伺驛迎索雇テライアン米國行臨時費準
備金壹万圓下付ノ儀朱書ノ通及指令候條本年度同
省経費ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達候事 八月十日
内務

第五科議案 大史査査

内務省伺驛迎寮雇ブライヤン氏米國行ニ付臨時費
準備金壹万圓御下付ノ儀ニ付總陳ノ趣審按候処太
平洋郵便船會社ト米國驛迎院トノ約定ヲ始メ其他
ノ數件何レモ我外國郵便上緊用ノ儀ニ有之殊ニ該
寮本年度経費中ヨリ仕拂候趣ニ付御允許相成可然
哉御指令按テ草シ仰高裁候也
八月八日
内務

十一月廿二日

八年

四十三

驛迎寮米人カアーク及クラーク雇継命令状

内務省伺

驛迎寮御雇外國郵便書記米人カアーククラーク西
氏儀昨七年十二月十四日御指令濟同年十一月十六
日ヨリ一ヶ年ノ期限ヲ以テ御雇入相成本月十五日
満期相成候愛實際ノ都合兩氏共必用ニ候間本月十
六日ヨリ猶一ヶ年ヲ期シ御雇継相成度允是迄カア
ーク氏給料ハ一ヶ月二百圓クラーク氏ハ年給一ヶ年
二千圓ヲ以御雇相成居リ候愛クラーク氏儀ハカ
アーク氏同様ノ事務擔仕殊ニ勉勵單在候ニ付カア
ーク氏同額ノ給料ニ増加相成相當ニ有之儀ト被存候付
テ八年給テ月給ニ引直シ一ヶ月二百圓御給與

四十一

四十三

太政類典